



教えて、くしろ! 子ども探検隊!



今日は、「おもちゃの病院」について紹介します。



問合先 釧路市子ども遊学館 (☎32-0122)

子ども遊学館に「おもちゃの病院」があるって聞いたよ?

子ども遊学館1階のミュージアムショップ横で開院しているよ。電池を入れても動かない、音が出なくなったなど壊れてしまったおもちゃを修理しているんだ。



どうしておもちゃを治すの?

壊れたおもちゃを治して、いろいろな資源の消費を少しでも減らすことは、大切なリサイクルとなつて、使い捨ての意識の改善にも役立つんだよ。大切なおもちゃが治り、喜んでくれる子どもたちの姿を見ることがうれしくて活動してるんだよ。

どんな人がおもちゃを治してくれるのかな?

おもちゃを修理してくれる先生(ドクター)は、ボランティアで活動をしているよ。

自動車整備士やコンピュータ技師として働いていて、定年後の趣味としておもちゃの修理に参加してくれる人など長年の経験や専門技術を持った人たちが所属しているんだ。

どんなおもちゃでも治してくれるのかな?

持ち込まれた壊れたおもちゃに感謝し、なんとしても治すというあきらめない気持ちで取り組んでいるよ。

ただし感電の可能性やエアガンなどの危険な物、法的に規制のあるもの、人の命に関わるもの、万が一壊れたとしても治すことができない骨董品等は、引き受けられないよ。



壊れたおもちゃを治すのは高いんじゃないかな?

壊れたおもちゃの診察代金は、1点につき100円だよ。

いつ持っていけばいいの?

壊れたおもちゃの診察日は、毎週土・日曜日(第5土曜・日曜は除く)で、診察時間は午前10時から午後4時だよ(※受け付けは午後3時まで)。



音別町郷土資料展示室へ出掛けてみませんか?

音別町郷土資料展示室は、音別町市街にある音別町ふれあい図書館「みなくる77」の2階にあります。入り口には、音別地域全体のジオラマがあり、音別地域の土地の高低や傾き、海や川など地勢を見ることができます。



展示コーナーは、「大昔の音別」「開拓のころ」「村の暮らし」「街の暮らし」の4つに分かれています。「大昔の音別」では、アイヌ民族の暮らしの様子や遺跡について、「ノトロ岬壱穴群」の復元図、出土した石器などを展示しています。「開拓のころ」では、音別地域の開拓の歴史や、尺別炭鉱の成り立ち、開拓に深くかかわった人物について紹介しています。「村の暮らし」「街の暮らし」のコーナーでは、昔の農林業で実際に使われていた用具や、当時の暮らしが分かる日用品を展示しており、音別地域の歴史を身近に感じることができます。また、昔の映画館である「栄楽館」を再現したコーナーでは、数多くの資料を基に作成されたマルチスライドの映像で音別の歴史を振り返ることができます。1階の音別町ふれあい図書館「みなくる77」では、図書の見出しも行って、釧路地域、阿寒地域に住んでいる方でも借りることができます。静かな時間の中で、ゆっくりと音別地域の歴史に触れてみませんか?



問合先 音別町ふれあい図書館「みなくる77」(☎01547-6-3435)

住所 音別町朝日2-81(音別町ふれあい図書館「みなくる77」2階)

開館時間 午前10時~午後5時

休館日 祝日・第3土曜日・第3日曜日・12月29日(水)~2022(令和4)年1月3日(月)

その他、臨時休館日を設定する場合があります。

※ご来館に際しては、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。